



「演劇×金融教育」実証プログラムの実施について

東邦銀行（頭取 佐藤 稔）では、地域の子どもたちの金融リテラシー向上に向けた取り組みとして、一般社団法人未来表現教育ラボ（代表理事 大野高義）と連携し、福島市教育委員会の後援のもと、**演劇と金融教育（座学）を融合させた実証プログラム**を下記のとおり実施しますので、お知らせいたします。

本取り組みでは、未来表現教育ラボが企画・制作した**金融教育のオリジナル演劇作品『あしたの、ぼくらのために。』**を児童が鑑賞した後、**東邦銀行による金融教育の座学を行います。**

前半の演劇パートでは、ゲームのガチャ課金に悩む主人公を描いたミュージカル演劇を上演し、児童が「ほしいもの」と「必要なもの」の違いを考え、お金の選択を自分ごととして捉えるきっかけを提供します。後半の座学パートでは、当行行員が「消費・投資・浪費」といったお金の使い方を分かりやすく解説し、家庭での対話を促します。

当行では、今後も地域社会と連携し、子どもたちが経済的に自立し豊かな社会生活を送るための金融経済教育の推進に積極的に取り組んでまいります。

記

1. 開催内容

(1) 日 時	2026年11月4日（水） 10:15～11:00
(2) 場 所	福島市立森合小学校 体育館（福島市森合字中谷地2-3）
(3) 参加対象	福島市立森合小学校 5学年児童 約100名および教職員
(4) 開催内容	【前半】演劇パート（約20分）：演劇作品『あしたの、ぼくらのために。』鑑賞 （企画・制作：未来表現教育ラボ） 小学5年生の「いっくん」を主人公に、日常の中にある「お金」と「選択」を描いたオリジナル作品です。 さまざまな出来事や観客である子どもたちとの対話を通して、「今、欲しいもの」と「これからの自分」のどちらを選ぶのか悩むいっくん。 いっくんが迷い、考え、選択していく姿を通して、児童自身が「もし自分だったら」と考えるきっかけをつくります。 ※本作品は、福島の子どもたちにより身近に感じてもらえるよう、福島県出身の俳優を起用し、劇中には福島の方言を取り入れるなど、地域性を大切に制作しています。金融という全国共通のテーマを扱いながらも、福島の子どもたちが「自分たちの物語」として受け止められる作品を目指しています。 【後半】座学パート（約20分）：東邦銀行行員による講義受講 （お金の使い方の種類「消費・投資・浪費」、必要なものと欲しいものの区別）
(5) 開催主体	主催：株式会社東邦銀行 企画・制作：一般社団法人未来表現教育ラボ 後援：福島市教育委員会

以 上